

## 【東郷湖・未来創造会議】

### 第1回社会資本整備チーム会議 会議録

日 時 平成23年10月3日(月) 午後6時～8時30分

場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

#### 1. 出席者

委員) 角野 幸恵、倉本 政寛、山下 和成、上井 明彦、森 輝信、岸田 哲夫  
中島 伸之、立木 肇、熊坂 かつ枝、山口 芳治、遠藤 公章、中原 都  
石川 幸弘  
事務局) 山田 志伸、林 紀明

#### 2. 開 会 (事務局：山田課長補佐)

本当は9月に計画しておりましたが、台風の影響で今日に延期となっております。第1回目ということで、社会資本整備チームとしてのご意見をまとめていただく会議をこれから開かせていただこうと思います。

#### 3. チーム長あいさつ (中島 伸之チーム長)

皆さんにお会いするのはかれこれ1カ月ぶりでしょうか。この未来創造会議、東郷湖を活かしてということで、今回招集させていただきましたのは、社会資本整備チームということで、東郷湖の周辺環境ですとか、整備、そういったものを一体的に捉えて、どういった提言ができるだろうかという会ですので、この後に前回の振り返りも含めて、前回のことを忘れていてと思いますので、もう一度スタートを切るつもりで、本日のこの場で意見集約をして、今後の東郷湖の活性化に役立つ提言をこのチームからできればと考えております。本日はご多忙のところではありますけれども、しばらくの間お時間をいただきまして、ご協議に積極的に参加していただければというふうに思います。

#### 4. 説明事項

ワーキングチーム会議の進め方について、以下の通り説明する。(概略/事務局：林)

- ◆会議の時間は、2時間を目安とする。
- ◆ワークショップ形式 (第1回未来創造会議と同様の手法)
  - 4～5人に分かれてグループ討議を行う。(2グループ)  
(プロジェクトの重要な一員であるという主体的なイメージを共有する。)
  - 提言、アイデアをポストイットに記入し、模造紙に貼る。
  - お互いに発表し合いながら情報の共有を図る。
  - 最終的な取りまとめを行う。
  - グループごとに発表者を選定し、議論の成果を発表する。

◆東郷湖S W O T分析結果

□分析結果を模造紙大に拡大し、会議会場に貼り出す。

(左上：強み／右上：強みの発展／左下：弱み／右下：弱みの克服)

□①東郷湖の強み分析、②東郷湖の弱み分析、③弱みを克服する対策、④強みをさらに発展させる対策について振り返りを行う。(資料配布)

□分析結果は絶対的なものではない。議論が混迷した時に立ち返るため。

◆重点的に取り組むプロジェクトの視点(資料配布：詳細別紙参照)

□福井氏の「会議総括(中核となるプロジェクトの方向性)」をたたき台に議論を展開する。具体的なプロジェクトの検討、魅力づくりに取り組む。

□社会資本整備チーム

①自転車道と歩行者道の周回コースの建設

②花と緑豊かな湖畔づくり

③その他

◆留意点

□第2回会議までのスケジュール

◇ワーキングチーム会議提案取りまとめ：平成23年10月14日(金)

※議論の進捗により、随時ワーキングチーム会議を開催していただくよう要請。

◇全体集約：平成23年10月17日(月)までに整理、集約

◇協議：平成23年10月24日(月)までに福井氏と第2回会議の打ち合わせ。

◇第2回未来創造会議(中間総括)：平成23年10月28日(金) 13:30～

□現段階では、財源のことは考えず、自由な発想を大事にする。

□最終的(中間総括)には、「事業名」と「事業内容」を整理する。

□第2回会議は、ワーキングチームごとに具体的なプロジェクトの発表の場とする。同時に、「町長の夢」も含めた形で、この「東郷湖・未来創造会議」の到達目標(ゴール)についての議論を行う。

5. ワーキングチーム会議

(事務局：林)

それでは、2つのグループで話し合いをしていただければと思います。特に、前回のグループと同じでなければいけないということではありませんので、それぞれでどういうことが考えられるかを話し合っただけならと思います。時間的な目安ですけれども、今から一時間程度話し合いをしていただきまして、その後、それぞれのグループでの検討結果の発表をしたいと思います。よろしくお願ひします。

～ ワーキングチーム会議 ～



グループ討議の様子／社会資本整備チーム

## 6. グループ討議の結果発表

※「自転車道と歩行者道の周回コースの建設」「花と緑豊かな湖畔づくり」「その他」の柱で整理、集約する。

[□：アイデア、提言／■：指摘事項など]

### 【自転車道と歩行者道の周回コースの建設】

※道本体をどうしたらいいのか、周辺に必要なものは何か、管理の在り方、コースの紹介の仕方、コースを分ける方法、ウォーキング、サイクリングを楽しませる方法（設備、内容）などを整理。

※きれいなところ、整備をされたところはたくさんある。東郷湖、コンパクトで10kmというところをいかに観光客に伝えるか。また、地元に住んでいる人がもう一度見直すということが必要である。

※道路自体が本体の魅力をつくるということになるが、他の部分で、例えば便利だとか、楽しみだとか、そういうことで色づけしておいて、全体を売っていく必要がある。

### <道路（本体）関係>

#### 〔道路整備〕

- 自転車と歩行者で色分けをする（他の地域との差別化）
  - ◇ 自転車、歩行者（ノルディック）部分をカラー舗装
- 多様な路面（場所によって他の道と違う色分け）
- 地域のいわれのあるような模様を入れ込んだ道路整備
- 膝や足に負担のない、歩くのに適した素材を活用した道路整備
- サイクリングしやすいように段が少ない道路整備
- 一部湖の中に入るコースの設置（設備的な要素）
  - ◇ 湖面を歩く遊歩道
  - ◇ はわい温泉から藤津まで栈橋
  - ◇ 旧レークホテル付近に栈橋
- 台風により浸水した道路の嵩上げ（夢広場／門田／松崎／めぐみのゆ公園など）
- 道路の擁壁に天女の絵、花（野花一八尺）
- 藤津から宮内、松崎駅前付近に歩道設置（歩道未設置箇所）
- 湖畔に自然散策できる歩道の設置（出雲山下付近）
- コースの手入れができていることが必要（雑草がきれいに刈ってある）

#### 〔街路灯設置〕

- 湖周に街路灯を設置
  - ◇ 夜間のウォーキングに対応
- 夜間照明（LED）を設置
  - ◇ 湖中源泉をライトアップ

## <設備関係（道路以外）>

### [案内表示の充実]

- 距離表示
  - ◇ 次の目印までの距離表示（〇〇まであと〇〇 k m）
  - ◇ 1 k m単位の距離表示（力量把握）
  - ◇ 走（歩）距離が分かる目印の表示（標柱／道路）
  - ◇ 観光施設を起点とした距離表示（中国庭園燕趙園など）
- コースの親切な案内、説明
  - ◇ トイレ、足湯、自動販売機、駐車場など
  - ◇ 消費カロリーや高低差など健康視点
  - ◇ 地域の物語、歴史、史跡など
  - ◇ 出雲山展望台の夜景など自然景観
- 注意喚起
  - ◇ 自転車、自動車／それぞれの立場で
- 多言語化

### [受付などの拠点整備（ウオーキング／サイクリング）]

- 既存施設（あやめ池スポーツセンター／ハワイ夢広場など）の機能活用
  - ◇ ウオーキング／腕章の配布、コースガイドの配布など
  - ◇ 足湯（周辺の既存施設の活用）／タオルの貸し出し
- 案内所（ステーション）の設置
  - ◇ 湖周に4～5箇所のステーションを設置（既存の観光施設を活用）
  - ◇ 自転車の貸し出し（レンタサイクル）
  - ◇ ノルディックポールの貸し出し
  - ◇ 万歩計の貸し出し
  - ◇ 傘の貸し出し
  - ◇ トイレ、足湯常設
  - ◇ それぞれのステーションに特徴を持たせることも選択肢
- 茶屋（給水ポイント）の設置、整備
  - ◇ スポーツドリンク
  - ◇ レンタルタオル
- 湖周エリアの整備
  - ◇ グラウンド・ゴルフ場
  - ◇ ドッグラン（ペット風呂）
- ウオーキング、サイクリングの協会員など本格的にされている場合は問題ないが、一般の方向けの対応が必要

### [付帯設備の充実]

- トイレの設置

- ◇出雲山など
- 給水ポイント
  - ◇天然水など
- 宮戸弁天の親水公園的な整備
- 無料の露天風呂の設置
  - ◇景観のいい場所（出雲山など）
- トイレ、足湯がかたよっている

#### <管理関係>

- ※良くないところは改善が必要
- 浸水箇所は盛土するなど、歩道として活用できるよう修繕が必要
- 冬季にも対応するのであれば、除雪体制の整備が必要

#### <コース関係>

##### [湖周のみに限定しないオプションコースを設定]

- 梨狩りができるコースを設定
- 伯耆一ノ宮まで行けるコースを設定
  - ◇船ではわい温泉から伯耆一ノ宮までの半周コースを設定
- おすすめコースの設定

##### [その他]

- ウオーキング、サイクリングコースの細分化
  - ◇アスファルトコース／自然道コース（湖に近い側を歩かせる仕組み）
- 一箇所でもシジミ獲りができる場所があればいい

#### <サービス関係>

- 完歩、完走記念になるメダルなど
- 湖周限定のオリジナルFM放送（ご当地ラジオ）
- 音声ガイダンスの貸し出し（歩きながら展示会を回ってもらう）
- 周辺施設の i p o d での音声ガイド



グループで議論した結果を発表



## 【花と緑豊かな湖畔づくり】

### <施設、設備関係>

- 花の名前、花言葉などの説明板を設置
  - ◇季節感の創出／ピンポイントの説明（炉端に咲いている一つひとつの花）ができる仕組みづくり
  - 年間通した看板は手入れをするつもりのない看板。その時期に咲いていない花の説明が年間通してあり、臨場感がない。
- 親水公園／ビオトープ
  - ◇動植物が繁殖しやすい環境づくり
  - ◇観光客、地元の人に注目していただきやすい場所を設定
- 花を観賞するベンチを設置
- 雨天時対策として一部アーケードを設置
- ツリーハウスの設置
- 野外活動スポットとして釣り堀を整備
- 桜並木の整備
  - ◇藤津から宮内／古い木を新しい木に
- コンクリートの護岸は止めて柵を撤去
  - ◇ヨシ原、砂浜の復活

### <花／木の種類など>

#### [テーマ性]

- 種類を変える／多くの種類を植える
  - ◇湖岸側に春・夏・秋・冬のゾーン（名称を付ける）を決めて植える
  - ◇花の種類でゾーンを決めて植える（桜／ショウブ／アジサイ／ツツジ／コスモスなど）
  - ◇春・夏・秋で3箇所のフラワーロードを設置
  - ◇冬季の花、木も忘れない
  - ◇香りのエリアを創出（視覚だけではなく香りで演出）
  - ◇花の種類をキーワード（桜、芝桜などの桜など）
    - 例) めぐみのゆ公園の池側未利用地を芝桜エリア
  - ◇果木を植える
    - 例) アケビ／グミ／イチジク／ビワ／カキなど
    - 食べ歩きができるなど演出
- 一つのポイント（桜）を決める／それ以外は色々な花を植える
  - ◇湖岸は桜、その間を他の種類で演出する
  - ◇臨海公園に桜を植える
- 花の種類
  - ◇コスモスの花（畑）
  - ◇梨の花（梨畑／秋に収穫）

- ◇花水木（ハナミズキ）〔花／紅葉／赤い実〕
- ◇蓮の花（宮戸弁天）
- ◇マイナー植物をメジャーに

#### 【その他】

- めぐみのゆ公園の芝付近に木を植えて木陰をつくる
  - ◇親子連れで訪れるための環境整備（休憩場所の確保）

- ハワイにふさわしい木を植える
- 宮戸弁天付近に緑の木を植える

#### <ソフト・サービス関係>

※観光客に見ていただいたり、触れていただいたり、遊んでいただくためのきっかけづくり

- 植樹体験
- 季節ごとのテーマ足湯
  - ◇ゆず／ショウブ／バラ／キンモクセイなど
- 湖周に一株植樹
  - ◇住民参加型で意識の醸成
- 取ってきた花で作れる押花体験コーナー
- ガイド養成
  - ◇東郷湖グリーンマイスター（一緒に歩いて自然ガイドを行うスタッフ）
  - ◇住民のコースガイド
- 地域住民の参画
  - ◇地域住民による手入れ体制づくり
- 花マップの作成

#### **【その他】**

- ノルディック、ウオーキング大会の開催
- ウオーキングデータの蓄積
  - ◇歩数／距離／脈拍など健康上のデータ⇒健康診断チェックサービス
- ウオーキング後の温泉入浴サービス
  - ◇温泉旅館
  - ◇温泉施設（ゆアシス東郷龍鳳閣／ハワイゆ～たうん）
- 地元の体験ネタを披露
  - ◇さくら工芸品工房の有効活用
- 伯耆一ノ宮の活用
  - ◇「安産」をキーワードに「子育て王国鳥取（県の施策）」と関連づける
  - ◇銅経筒など歴史資源の活用
- 湖面の活用
  - ◇ボート、カヌーなど



■町民が活用しきれしていない。

□カヌー、ウインドサーフィン、ボートフィッシングの基地整備

◇あやめ池公園

□水族館

◇東郷湖の魚や生き物などを身近に触れることができる環境づくり

□営業していない旅館の有効活用又は撤去

※東郷湖の周辺環境の整備をする上で、設備的なことよりもむしろソフト面、どういうテーマとか、どういうコンセプトとか、そういうことを打ち出していくことが大事。



グループで議論した結果を発表

(事務局：林)

長時間に亘りまして、色々ご議論いただきまして本当にありがとうございました。この社会資本整備チームにつきましては、道を整備するという大きなテーマがあって、それに、ハード面だけではなくてソフト面も付帯的に整備していく必要があるということで整理できると思います。また、花の関係につきましても、四季ということが一つのテーマでもありますし、その種類や香りも大きな要素かと思えます。おおよそキーワードごとにまとめているので、このチームの提案ということで取りまとめをさせていただこうと思います。取りまとめた会議録は皆さんの方にお送りいたしますが、他のチームのようにもう少し深く話し合いたいということがあれば再度会議を設定させていただきますし、一応今日のところで集約できたということでしたら、最終的にチーム長、副チーム長と相談させていただいて、このチームの提案とさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

<今日の会議で意見集約>

それでは、今日の会議の内容は私の方で整理させていただいて、会議録ということで皆さ

んの方にお送りさせていただきます。それで、この社会資本整備チームとしての提案につきましては、もう少し整理をしながらチーム長、副チーム長にご相談させていただいて、中間総括までの最終的な形をつくりたいと思います。最終的なものは、その後、皆さんの方にお送りさせていただきますのでご了解ください。28日に第2回未来創造会議を開催いたしますが、その時にはこのチームとしての提案ということでご報告いただきます。その他のチームについても同様です。〇〇事業のような大きなテーマで打ち出せる部分とそうでない部分があると思いますけれども、ある程度大きな柱で整理した中での提案ということになると思います。28日はそれぞれのチームでご報告していただいた後に、冒頭申し上げましたように「町長の夢」というものもあるものですから、それぞれを考慮しながらトータルとしてどのように進めていこうかという方向性を議論していただくことになると思います。来年度の予算のこともありますので、できるものは来年度に、中期的にみるもの、長期的にみるもの、色々な整理を中間総括以降にしていくことになると思いますので、その際には皆さんにご協力いただくことになると思います。

その他、以下のことについて説明する。

□全国都市緑化フェアが2013年に鳥取県で開催されること。

□天女サミットの開催事例。

□第2回未来創造会議で福井ファシリテーターによる天女についての講演

この社会資本整備チームにつきましては、今日のところでおおよそまとまったということで整理させていただきます。また会議録を皆さんの方にお送りいたしますので、そちらをご一読いただけたらと思います。

それでは、今日の会議は終了とさせていただきます。長時間に亘り、本当にありがとうございました。